

令和3年度

園だより

11月

文京区立根津幼稚園



「実りの秋、遊びも実る秋」

副園長 野本 和美

幼稚園のみかんが少しずつ大きく黄色に変わってきています。今年もみかんが豊作です。ある日、りす組さんが「みかん落ちてた」と小さい緑のミカンを持ってきました。私が、「鳥さんがいたずらしたのかな？」と受け取ると、じっとみかんを見ている。「みかんいっぱいになっているから、黄色になったら食べようね」と言うと、にっこり笑って遊びに戻っていきました。美味しいみかんを食べるのが今から楽しみです。



5歳児ほし組は、先月終わりに念願の「花やしき」へ遠足に行きました。午前中というタイトなスケジュールではありましたが、感染症対策をしっかりと行いながら、いろいろな乗り物に乗ってきました。何に乗るか乗らないかを考えて選び、たまに怖くなりながらも思い切り堪能しました。



遊園地作り 相談中

次の日、早速「遊園地作る!」と話し始めた子どもたち。去年の経験を思い出したのでしょうか。教師が何も言わなくても経験が繋がっていくのだな、と感じています。どんな「ほし組遊園地」ができるのでしょうか。たくさん相談して皆で作り上げる姿が浮かびます。

4歳児はな組は、上野東照宮に行きました。歩ける距離に東照宮があるという恵まれた地だと改めて思います。教師の後を2列で歩き、長い石段も頑張って上り、東照宮内ではたくさんのドングリに大歓声、秋の自然を満喫しました。次の日からそのドングリを使って「ドングリ転がし」「ドングリケーキ作り」などが始まりました。拾ったドングリを生かして遊びがどんどん広がっています。



3歳児りす組は、毎日ごっこ遊びを楽しんでいて、この日も「ゆびわやさん」や警察官、修理屋さんなどいろいろなごっこ遊びをしていました。なりきった言葉を言うのも楽しそうで、ほほえましく見えています。また、段ボールのみかんの木もできていて、画用紙で作ったみかんを収穫して食べる姿があり、園での生活が遊びの中に生きていると嬉しく思いました。



各学年、運動会で積み重ねた経験をもとに、さらに遊びや生活が充実していると感じます。秋の実りがたくさんの今、子どもたちも、たくさんの刺激を受けながら遊びが実っていています。その姿をしっかりと見守り支え、一人一人の学びに繋げていきます。